取扱説明書

Victor

コードレスヘッドホンシステム

型名 HP-ALW600

お買い上げありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そしてお読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

赤外線コードレス

主な特長

●ヘッドバンドが消えた軽快コードレスヘッドホンシステム

●トランスミッターにヘッドホンを載せるだけの簡単オンスタンド充電

●高磁力ネオジウムユニットによりコンパクトボディながら迫力の高音質サウンドを再生

●髪型の乱れを気にせず自由なスタイルで快適リスニングを実現

●電池代のかからない経済的な充電式（充電池内蔵）

●受信エリアを外れた時にノイズをカットするオートミューティング機能

詳しくはこの取扱説明書の中面をご覧ください。

主な仕様

一般仕様

赤外線波長：850 nm
変調方式：周波数変調
搬送波周波数：右チャンネル　2.8 MHz
左チャンネル　2.3 MHz
受信距離：約7 m(正面軸上)
受信有効角度：約90度(左右方向/発光部中心)
再生周波数帯域：25 Hz~24,000 Hz
ひずみ率：2 %以下(1 kHz)

赤外線トランスミッター部(HP-ALW600T)

電源：DC9 V(専用ACアダプター使用)
音声入力コード：コード長1.5 m、φ3.5 mm 24金メッキステレオミニプラグ付
外形寸法：幅12.2 cm×奥行9.0 cm×高さ9.7 cm
質量：112 g(ACアダプター別)

添付物・付属品

保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
取扱説明書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
サービス窓口案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
専用ACアダプター ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
(J47669-001)
変換コード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
(φ3.5 mmステレオミニジャック–ピンプラグ×2)

ヘッドホン部(HP-ALW600H)

型式：オープンエアーダイナミック型
使用ユニット：口径30 mm
電源：専用ニッケル水素充電池（1.2 V/550 mAh）
電池持続時間：約20時間(約24時間充電時)
(使用条件によって変わります。)
質量：82 g(内蔵ニッケル水素充電池含む)

※本機の仕様および外観は改善のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証とアフターサービス

●保証書は必ずお受け取りください
この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について
保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証書の規定に従って、お買い上げ販売店にて修理させていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について
当社は、このコードレスヘッドホンシステムの補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理を依頼されるときは
「故障かな？･･･」の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。
■ビクターコードレスヘッドホンシステム
HP-ALW600
■お名前とおところ
■電話番号
■故障症状（詳しく）
なお修理のご用命の際は必ず本システム全体をご持参ください。

●アフターサービスについてご不明な点は
ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取扱いについて
ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120−2828−17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045) 450−8950
FAX (045) 450−2275
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2005 Victor Company of Japan, Limited

LNT0052-001A

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告

■万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。
・煙が出ている、異臭がする
・内部に水や物が入ったとき
・落下などにより破損したとき
・電源コード（ACアダプター）が傷んだとき
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
故障、火災・感電の原因になります。

■この機器を分解・改造しない。
故障、火災・感電の原因になります。

■ニッケル水素充電池と本機の取り扱いについて。
充電するときは必ずこの機器（ヘッドホン、トランスミッター）を使用する。

⚠注意

■電源プラグ（ACアダプター）を抜くときは電源コードを引っ張らない。
コードに傷がつき、火災・感電の原因となります。必ず電源プラグ（ACアダプター本体）を持って抜いてください。

■ACアダプターの取り扱いについて。
・この機器には専用のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障、火災・感電の原因となります。
・ACアダプターを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

■ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

本機を廃棄するときのご注意

Ni-MH
このマークはニッケル水素充電池のリサイクルマークです。

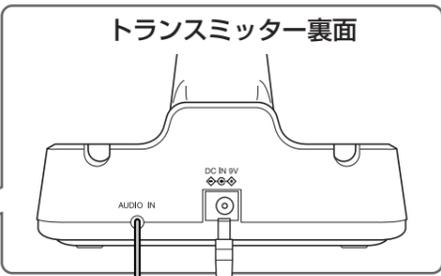
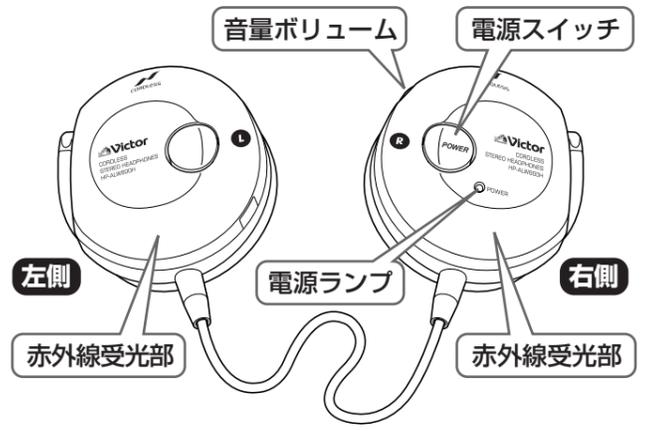
■本機の内蔵充電池にはリサイクル可能なニッケル水素充電池を使用していますので、廃棄の際は、添付のビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービスエンジニアリング株式会社にお持ちください。

使用上のご注意

■直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になるところに放置すると、変形・変質をまねくため、ご注意ください。
■汚れがひどい場合は、中性洗剤などで拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。
■イヤーパットは通常の使用や保存状態でも、経年変化で自然劣化する場合があります。劣化時は早めにイヤーパットの交換修理をお勧めいたします。
■標準ジャック（φ6.3 mm）のヘッドホン端子付AV機器に接続する場合は、別売のプラグアダプターAP-113Aをご使用ください。

はじめてお使いになる場合は

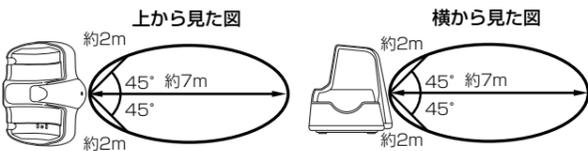
本機は充電式のヘッドホンです。お買い上げ時には十分に充電されていません。
お使いになる前に「ヘッドホンの充電」の項目を参照し必ず充電を行なってください。

各部の名称

家庭用ACアダプター
家庭用AC100 Vコンセントに接続してください。
他のACアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。
必ず付属の専用ACアダプターをご使用ください。

ヘッドホン

① 準　備

・トランスミッターの設置場所を確認します。
・再生機器を接続します。
・ACアダプターを接続し、家庭用AC100Vコンセントに差し込みます。
（ヘッドホンと再生機器の**音量は最小**にしておきます。）

トランスミッターの設置場所

トランスミッターからの赤外線が届く範囲は下図の通りです。範囲内でヘッドホンが使用できるように、トランスミッターを設置してください。

ご注意

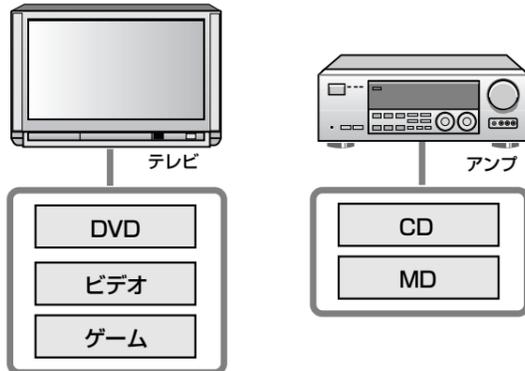
◇壁や不透明なガラスなどの障害物は赤外線を通しません。必ずトランスミッターが直接見える位置でお使いください。また、ご使用になる部屋の条件によっては、使用できる範囲が変わることがあります。
◇トランスミッターは水平な場所に設置してください。また、放熱孔をふさがないようにしてください。
◇赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能には問題ありません。

オートミューティング機能について
赤外線がうまく受光されないと、オートミューティング回路の働きにより、耳ざわりな雑音とともに自動的に音が消えます。
このような場合には、トランスミッターに近づき、赤外線が届く範囲内でご使用ください。

ライン出力端子に接続する場合は、付属の変換コードをお使いください。

ライン出力端子は、ヘッドホン端子に比べて信号が小さく、ノイズが発生することがあります。
そのときはヘッドホン端子に接続して音量を調節してください。

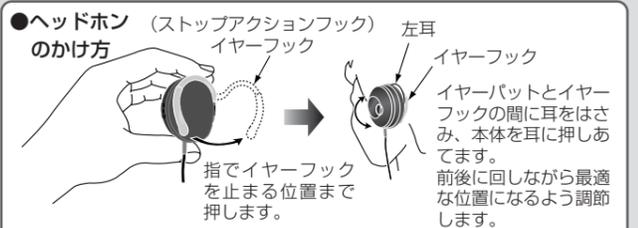
接続

接続する機器の**ヘッドホン端子**に接続します。

HP-ALW600や接続する機器の破壊などを防ぐため、ヘッドホンプラグやピンプラグを抜き差しする時は接続する機器の音量を最小にしてください。

・プラズマディスプレイとの同時使用はできません。
（プラズマディスプレイより発生するノイズ妨害を受ける場合があります。）

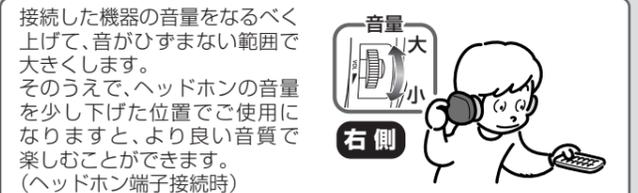
② 操　作

1. ヘッドホンを装着します。

●ヘッドホンのかけ方　（ストップアクションフック）イヤーフック
左耳　イヤーフック
指でイヤーフックを止まる位置まで押します。
イヤーパットとイヤーフックの間に耳をはさみ、本体を耳に押しあてます。
前後に回しながら最適な位置になるよう調節します。

2. ヘッドホン（右側）の電源スイッチを入れます。
（ランプ点灯）

3. 接続した機器を再生します。
音声信号が入力されると自動的にトランスミッターの電源がONになります。曲の始まりが静かな音楽を再生した場合、トランスミッターの電源が曲の始まりからONにならない場合があります。このような場合には、あらかじめ音量の大きな音楽を再生してトランスミッターの電源をONにしてからご使用ください。

4. 接続した機器の音量とヘッドホンの音量を調節します。

接続した機器の音量をなるべく上げて、音がひずまない範囲で大きくします。
そのうえで、ヘッドホンの音量を少し下げた位置でご使用になりますと、より良い音質で楽しむことができます。
（ヘッドホン端子接続時）

コードレスヘッドホンは製品の特性上わずかなノイズが発生します。静かな曲の時、または曲間などでノイズが聞こえることがありますが、本機の性能であり故障ではありません。

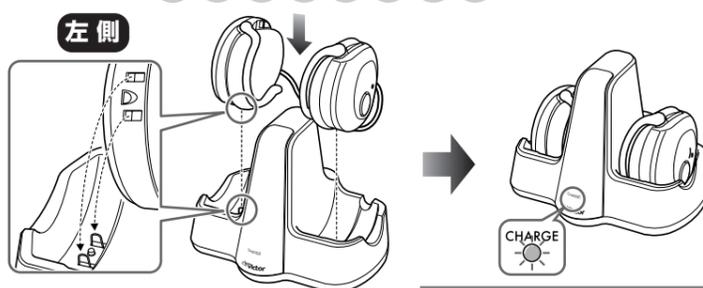
③ 使い終わったら

・ヘッドホンを外し、電源スイッチを切ります。
・トランスミッターは約2〜3分間音声信号が入らないと、自動的に電源が切れます。
・使い終わったら、ヘッドホンの充電をしてください。

長時間、このヘッドホンシステムをお使いにならないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

ヘッドホンの充電

ヘッドホンの電源スイッチを切り、右図のようにヘッドホンの向きを合わせてトランスミッターの上に置きます。
この時充電ランプが点灯するように、ヘッドホンのコードを整理してから両手でしっかりと置いてください。

・ヘッドホンを置く時、無理な力を加えるとトランスミッターの充電端子が変形することがありますので、ご注意ください。
・ヘッドホンを充電中にトランスミッターの充電ランプの明るさが変化する場合がありますが、これは本機の性能であり故障ではありません。

— 充電の目安 —
24時間の充電で、約20時間使用できます。
（使用条件によってかわります。）

充電ランプは、内蔵充電池の通電状態を表示しています。正しくヘッドホンが置かれているときは満充電になっても常に点灯しています。

充電時のご注意

・本機の充電は少しずつ行われます。充電のしすぎによって故障することはありません。
・十分に充電しても使える時間が短い時は、1〜2回使いきってから充電してお使いください。使用時間が回復します。
・上記の充放電を行なっても使える時間が通常の半分以下になった時は、内蔵充電池の寿命です。内蔵充電池の交換の際は、別紙のビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、お近くのビクターサービス窓口にご相談ください。

故障かな？・・・

おかしいな？故障かな？と思ったら修理に出す前に次のことをお確かめください。

症　状	対　処
音がでない	・充電をする。 ・トランスミッターの接続を確認する。 ・ヘッドホンの電源スイッチを入れる。 ・接続した機器の電源を入れ、再生を始める。 ・接続した機器の音量を確認する。 ・ヘッドホンをしっかりと装着する。 ・ヘッドホンのボリュームを適度な音量に調節する。 ・赤外線の届く範囲でヘッドホンを使用する。
音がひずむ	・充電をする。 ・接続した機器の音量を確認する。 ・ヘッドホンのボリュームを下げる。
雑音が多い	・充電をする。 ・トランスミッターとヘッドホン間の障害物を取り除く。 ・接続した機器の音量を確認する。
充電できない	・充電ランプが点灯するように、ヘッドホンのコードを整理し、向きを合わせてトランスミッターの上にしっかりと置く。 ・ACアダプターの接続を確認する。

赤外線コードレスシステムについて

マークは当社の赤外線コードレスシステムマークです。

赤外線利用の光伝送システムは、その固有の特性からご使用の際には、下記事項を参考にしていただき、最適なリスニング環境のもとで、充分にお楽しみください。

●太陽光に含まれる赤外線：
太陽光には、紫外線から赤外線を含め幅広い波長の光が含まれています。本システム利用の赤外線もこの中に含まれており太陽光による影響を受けやすいので、屋外、窓ぎわ、サンルーム等、直射日光の当たる場所でのご使用は避けてください。

●光の直進性：
光は障害物によって遮断されますので、必ずトランスミッターを直接見通せる位置でご使用ください。

●光の反射：
室内でも、採光が良く、壁・家具等が白色系統の場合、光の反射が生じ、雑音の原因になります。このような場合、トランスミッターとの距離を近づけ影響を受けないような状態でご使用ください。

●光の減衰：
光は光源から離れるに従い弱まります。本システムは、トランスミッターとヘッドホンの距離を中央で約7 m 以内として、最適なリスニングポジションでご使用ください。